

Weekly コラム

平成 28 年 10 月 4 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

Duo Skin

昨今、大きな広がりを見せるスマートフォン市場。最近では、スマホの画面に触れることなく、テーブルや紙の上・空中の指の動きを認識させて操作を可能にする新技術など、様々な最新技術の開発が進んでいます。

小型化や高性能化が進むコンピュータが行き着くところの 1 つが「人間の体との統合」とも言われていますが、先日米マサチューセッツ工科大学の研究者が、スマートフォン等のデバイスを操作できるタトゥーシール「DuoSkin」を開発しました。これは MIT とマイクロソフト・リサーチが共同で開発した肌に貼ることでその部分を「タッチパッド化」することができるものです。以前から、皮膚と一体型や非公式ながら人体に埋め込むデバイスは存在していたようですが、「DuoSkin」の完成度はそれらとは一味違い、かなり近未来チックなデバイスに仕上がっています。本格的なデバイスにも関わらず皮膚にシールを貼るだけなので、埋め込み型のような怖さはありません。

このタトゥーシールは、金箔で作られており機能ごとに種類があるようです。タトゥーをタップ・スワイプしてデバイスを操作できるタッチパッド機能、タトゥー上に色や模様を表示させるディスプレイ機能、スマートフォンをかざすことで通信できる NFC(近距離無線通信)を使った機能があるようですが、今後の開発次第ではさらに色々な機能が追加されるかもしれません。また、LED ライトを搭載しており、通知の受け取り

も可能だそうです。実用化の時期は明かされていませんが、9 月にドイツで開催される ISWC というウェアラブル技術に関するシンポジウムにて「DuoSkin」の論文が発表されるとのことです。

これだけの機能がありながら、装着方法はシールを貼るだけと簡単なので普段の生活に気軽に取り入れられそうです。しかし、シールという面から 1 日限定の使用になってしまいますが、素材の安価さや加工が容易とアピールしており、自分だけのオリジナルデバイスを自作できるようになるそうです。自作に必要な道具は、最も高価なものは 230 ドルの電子カッターです。金箔シートは 1 袋 10 ドル、NFC タグは 2.5 ドルとすべて揃えても 3 万円ほどです、実際に自作でオリジナルデバイスを作れるようになったら、ファッションに敏感な若い世代に人気が出るかもしれません。近い将来、「DuoSkin」が世界中で流行する日がくるかもしれません。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。